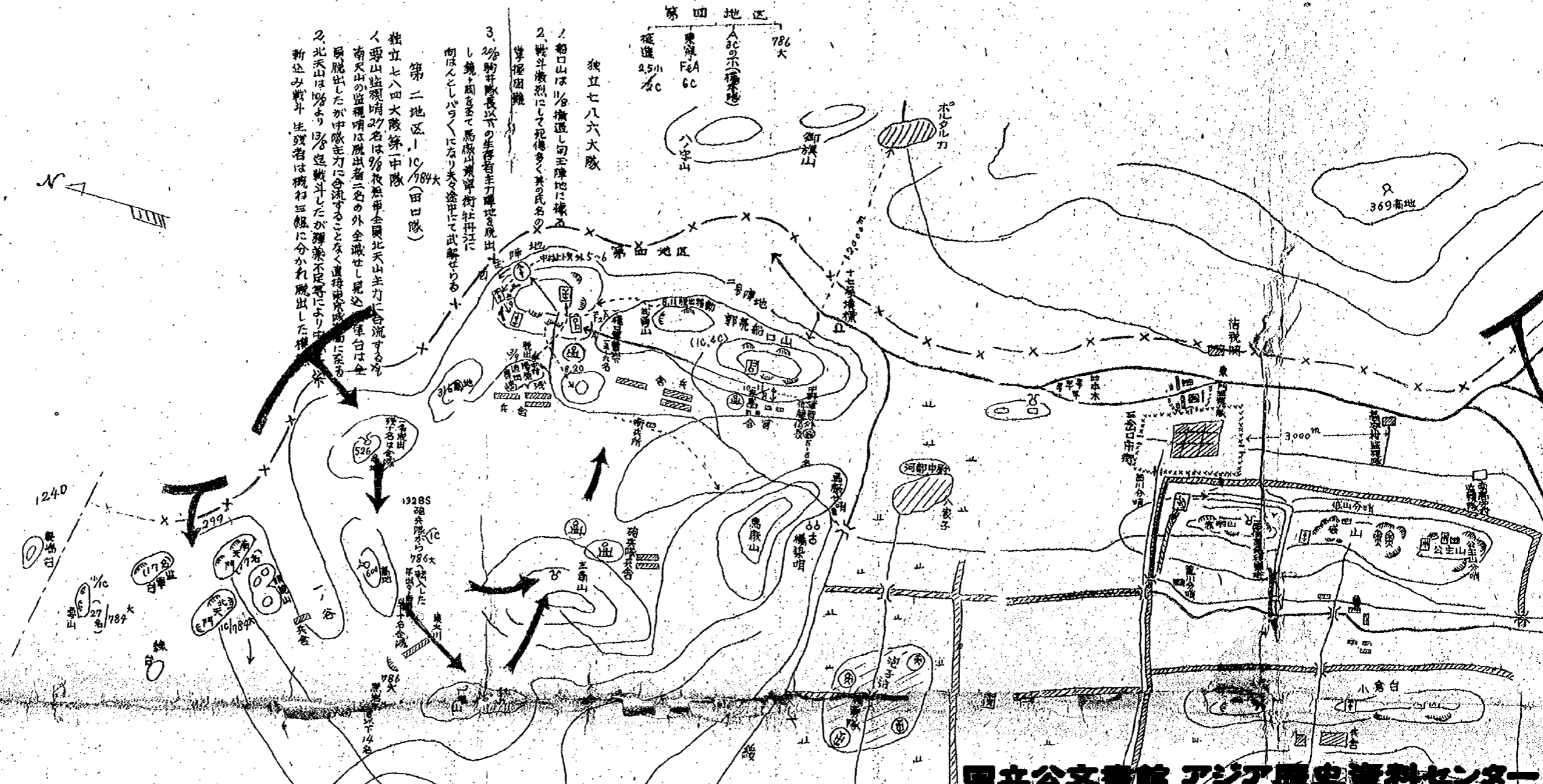


# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="627 719 1161 1093"><tr><td data-bbox="627 719 884 904">1</td><td data-bbox="884 719 1161 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="627 904 884 1093">3</td><td data-bbox="884 904 1161 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0002  
0003  
0004  
0005

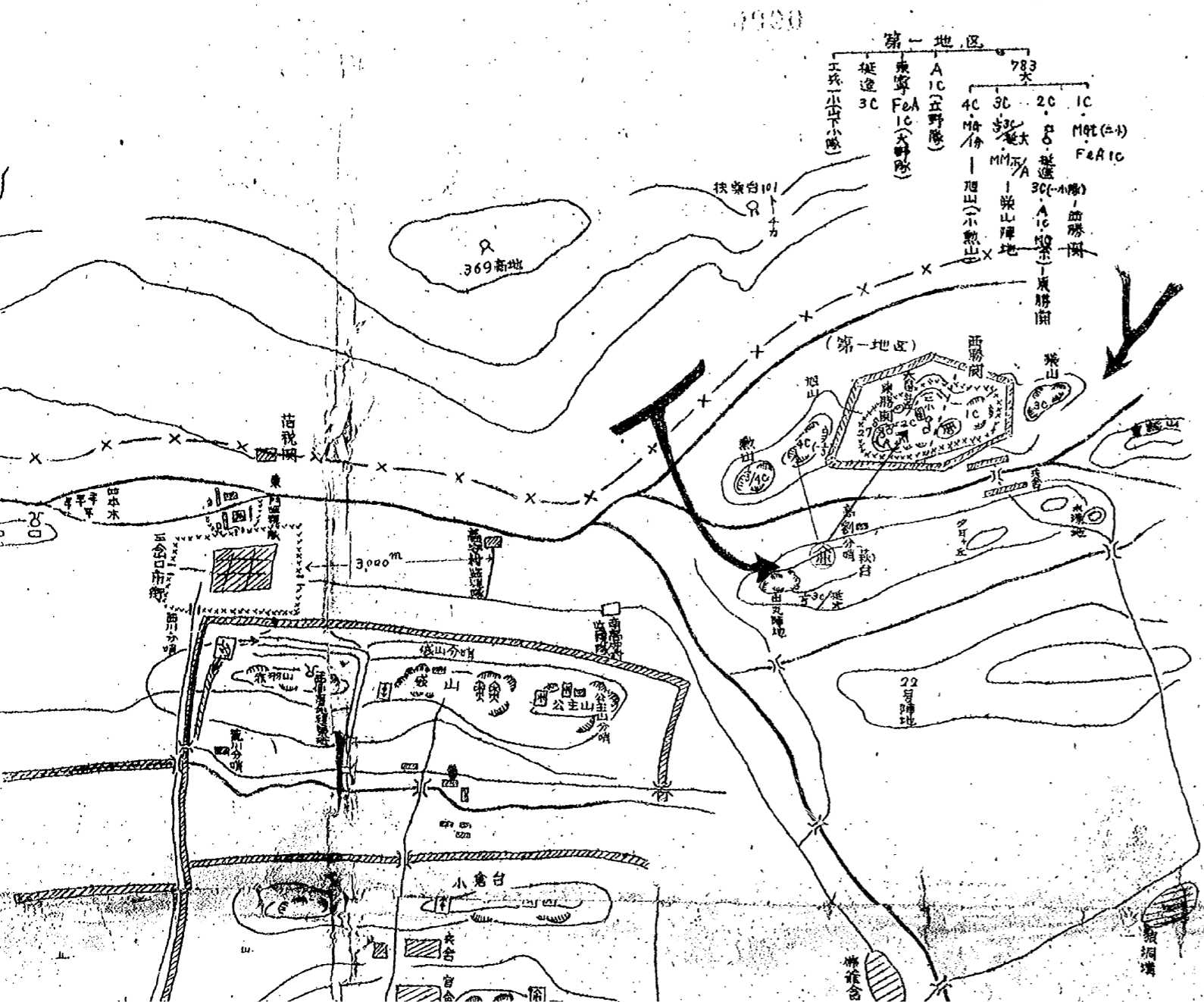


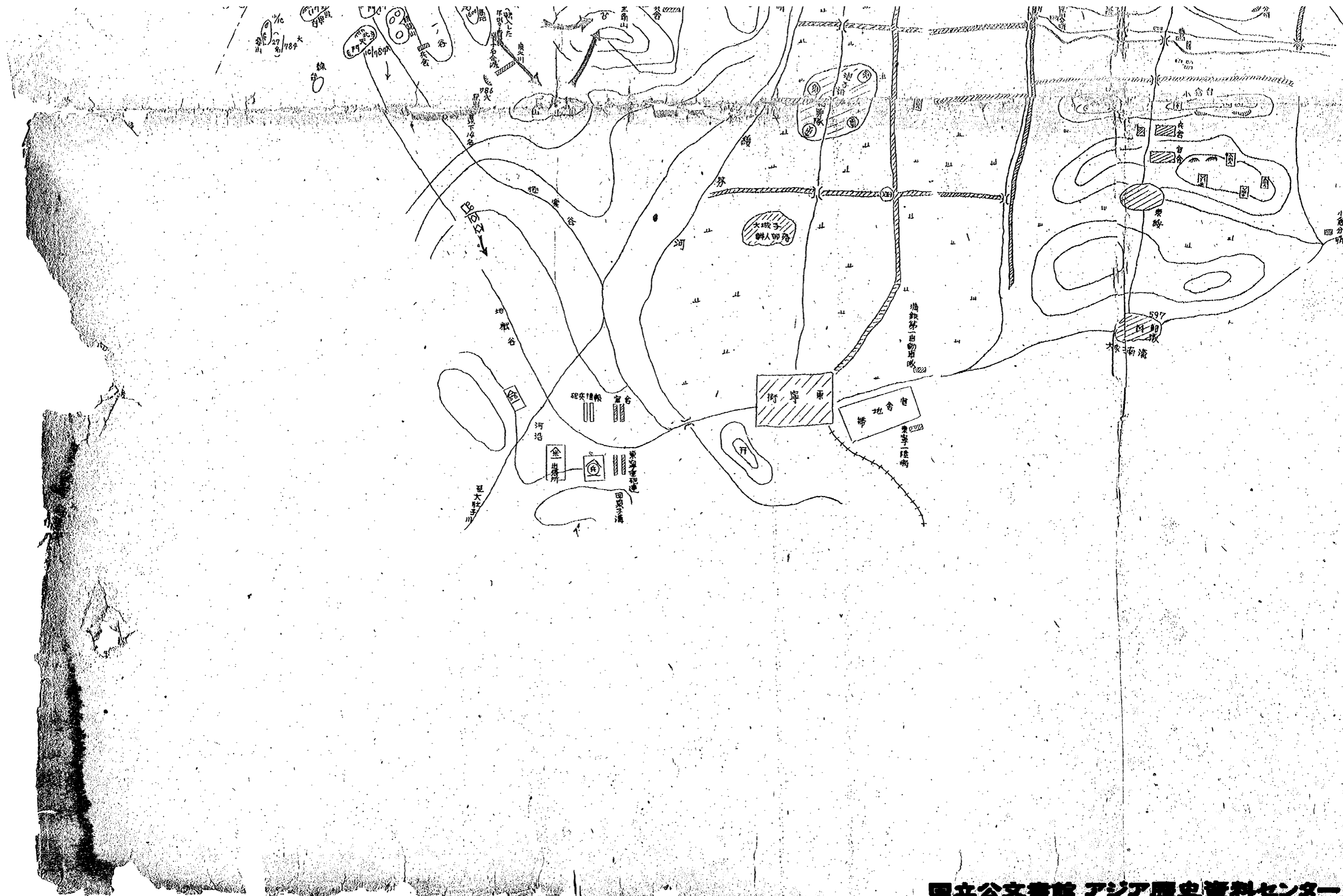
# 東寧陣地配備要図

獨歩七八三大隊

1. 各陣地を確保す
2. 勝陣地は敵の破壊による一酸化炭素による中毒被害が多い
3. 終戦後知り各部隊山を下つて金谷收容所に入所する

- 独混百三十二旅団
- 1. 司令官は敵機と同様に
  - 2. 時七八四主力(中隊)大隊正面
  - 3. 填壕命令に依り大城殿に向
  - 4. 七八四大、小坡子南(大同橋)
  - 5. 七八四大、火油部落にて戦
  - 6. 七八四大、洞窟にて戦
  - 7. 七八五大、金湯山附近、球子溝北方
  - 8. 洞窟附近にて戦
  - 9. 大城殿に集結
  - 10. 砲安面中心砲台





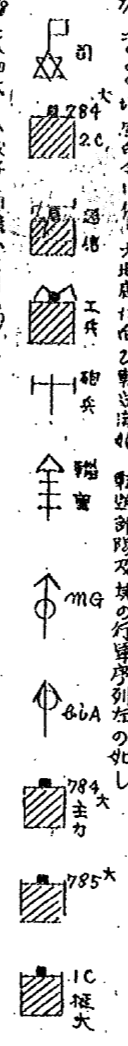
要図  
 (獨混  
 132旅  
 783ls  
 784ls  
 786ls  
 其他)

獨混百三十二旅團主力の行動概況

787。司令官は砲隊を同時船舶口野原山と南山に位置す

788。時上八四火力(中隊)大城子南港に位置す

789。二。砲隊司令に依り大城廠に向ひ輸送開始、輸送部隊及其の行進序列左の如し



787。小成子南港(大同橋)にてF中の攻進を受く

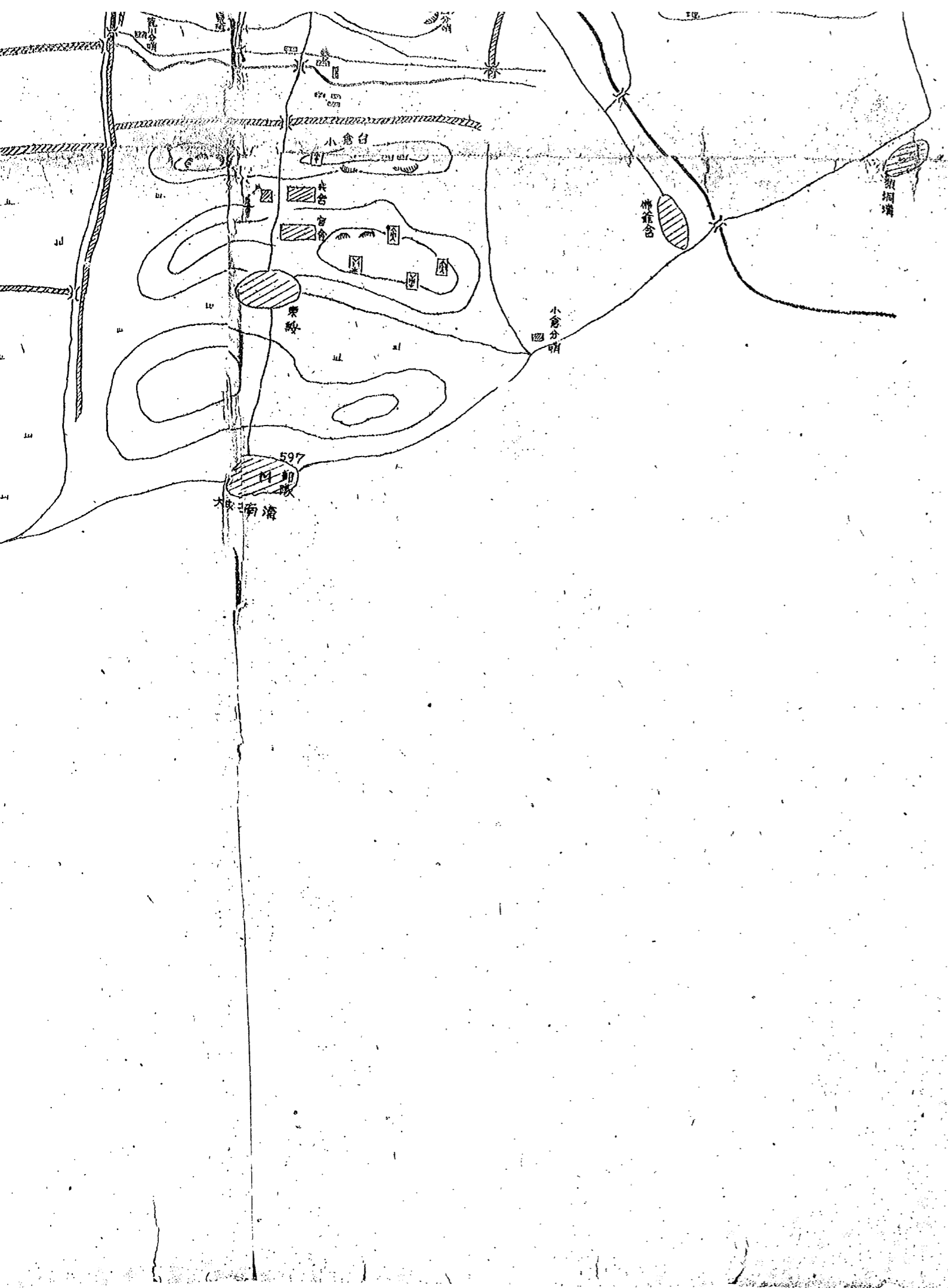
788。七八四大 砲隊部隊にて戦斗全滅

789。七八四大 砲隊に於て戦斗

790。七八五大 倉島山附近、砲隊子溝北方一科(F中)及F中の攻進を受く、砲隊各々落着以て大城廠に向き行動す

791。大城廠に集結

792。砲隊西半心砲隊砲P、T、T、L、挺大



皇朝通志卷一百一十五

0006